

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO 法人はあとびあ21 エール		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 8日		令和8年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 13日		令和8年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<b>環境・体制整備</b> ○活動のスペースが広く、のびのびと過ごすことができる。 ○近くに広場や児童館、公園等の施設があり、積極的に活用し、地域の子供と交流する機会になっている。	○スペースを学習、遊び、おやつ場などに分けて使用している。 ○ランニングやボール遊び等の広いスペースが必要な時には、近くの広場で行っている。 ○生活空間を清潔で心地よく過ごせるように備品の確認、毎日の清掃、机などの消毒を行い、安全で清潔な環境を心掛けている。 ○子どもたちにいろいろな活動の機会を得ることができるよう児童館の職員の方に協力を求めている。	○こどもが、自分たちで約束ごとを決め、みんなが楽しく安全に過ごせる環境作りを意識できるように働きかける。
2	<b>適切な支援の提供</b> ○ガイドラインの4つの基本活動を組み合わせて活動プログラムを作成し、実施している。	○4つの基本活動に偏りがないように計画をしている。 ○活動の中でこどもが自分で選択して進める場面を作っている。 ○「クリスマス会」や「進級を祝う会」等こどもたちがプログラムを考え、準備し、司会進行するイベントを行っている。	○活動プログラムの見直しを行い、こどもたちがより積極的に楽しく取り組める内容を検討していく。 ○マナー化しないように参考になる情報を集める。
3	<b>非常時等の対応</b> ○非常災害に備えた避難訓練を定期的に行っている。 ○施設自体が地域の避難場所に指定されている建物なので、万が一の場合でも安心できる。	○2か月に1度、避難訓練を行っている。 ○火災の避難訓練は、総合会館の事務所と連携して行っている。	○各マニュアルを見直し、整備する。 ○防災グッズ、防犯グッズ、感染症対策グッズ等を整備する。 ○職員の研修も行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<b>保護者との連携</b> ○HUGアプリでいろいろな情報を配信しているが、なかなかよんでもらえないことがある。 ○父母の会組織づくりができていない。保護者会を実施したが、保護者参加率が低い。	○保護者会や親子夏祭りは土曜日の開催で、家庭の都合によって参加できない保護者が多かった。 ○HUGで配信している情報には関心がないのではないかな。	○父母の会を設立を保護者に図り、必要であれば、はあとびあ21全体で準備を進める。 ○保護者会や8月の親子夏祭りはより多くの家族が参加できるよう日時や内容を検討して継続して行う。保護者会等で、HUGアプリの有用性を説明する機会を設ける。 ○HUGには読んでもらえるように内容を工夫する。
2	<b>適切な支援の提供</b> ○職員の勤務時間にばらつきがあり、支援開始前の打ち合わせ時間を取ることができない。 ○個別支援計画に基づいた支援の内容が、職員に共有されにくい。	○パート職員が多く、こども一人一人の課題や支援の内容を十分理解できていない。	○支援開始前には個別支援計画に目を通し、具体的な支援の仕方を確認することを徹底する。 ○伝達ノートや掲示板の活用を工夫して、打ち合わせ事項を伝える。 ○支援計画について十分に理解ができていない職員に対しては個別に説明する機会をとる。
3			